

## コンパス薬局瀬谷スキルアップ勉強会 第103回『デエビゴ錠』

エーザイ・ジャパン 武田 行平様

2020.11.20 松下 武憲

参加者：相原、小西、松下、上野、佐藤、金子、渡辺

「デエビゴ錠」は、脳内で覚醒に関与するオレキシン受容体の2種のサブタイプ（オレキシン1および2受容体）に対し、オレキシンと競合的に結合する拮抗剤で、覚醒と睡眠リズムの調整を担うオレキシン神経伝達に作用し過度な覚醒状態を緩和することによって、覚醒中枢と睡眠中枢のバランスを整える非鎮静作用の治療薬である。「デエビゴ錠」は、オレキシン1および2受容体双方を阻害するが、ノンレム睡眠の抑制にも関与するオレキシン2受容体への親和性がより強く、結合・解離が速いことから、患者様に速やかな入眠と睡眠維持をもたらすことが期待される。

### 【効能・効果】

- ・不眠症

### 【用法用量】

・通常、成人にはレンボレキサントとして1日1回5mgを就寝直前に経口投与する。なお、症状により適時増減するが、1日1回10mgを超えないこととする。

### 【特徴】

- ・同効薬の「ベルソムラ錠」に比べオレキシン2受容体に対して結合・乖離が早い。
- ・CYP3Aを阻害する薬剤との併用は禁忌ではなく1日1回2.5mgまでの併用注意。
- ・3種の規格があり、個々の患者にあわせて細かい用量調節が可能。
- ・1包化可能。
- ・肝代謝薬物である、重症肝障害患者には禁忌。

### 【禁忌】

- ・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- ・重度の肝機能障害のある患者（レンボキサントの血漿中濃度を上昇させる恐れがある。）

### 【副作用】

- ・ 3%以上：傾眠・頭痛、倦怠感
- ・ 1～3%：浮動性めまい、睡眠時麻痺、悪夢、悪心、体重増加
- ・ 1%未満：注意力障害、錯乱・幻覚、口内乾燥、腹痛、ALT 上昇、回転性めまい、耳鳴り、食欲亢進、多汗、血中トリグリセリド上昇、異常感、転倒、筋肉痛

### 【考察】

今回の、「デイビゴ錠」はいままで使われてきた「ベルソムラ錠」に比べ CYP の関与が少なく、CYP3A4を阻害する薬剤との飲み合わせが比較的良くなり、抗生物質の「クラリス」等併用患者の不眠治療の幅が広がったといえる。また、1包化可能なので服薬コンプライアンスの悪い患者のコンプライアンス向上にも繋がる、ただし肝代謝薬物であるので「ベルソムラ錠」にはない「重度肝障害患者には禁忌」にも処方監査時は気をつける必要がある。最後に新規薬であるので処方制限があるので14日しか今のところ処方出来ないことはデメリットの1つであろう。

ただオキシトシン受容体拮抗薬に新しい選択枝が増えたことは朗報とも言える。

### 【質疑応答】

- ・ ベルソムラ15mg 服用患者患者からの切り替えは？  
→1日1回5mg より開始、患者状態で10mg まで増量可能。
- ・ ベルソムラとの薬価の差は？  
→ベルソムラ15mg とデエビゴ5mg は薬価同等である。
- ・ 服用時の食事の影響は？  
→食後より空腹時の方が効果が高い。